

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-82	小学校	社会	社会	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 601 社会 602	新しい社会 6 政治・国際編 新しい社会 6 歴史編		

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

現代は、グローバル化と情報化が進展し、急速に社会が変化する中で、将来を予測することが難しくなっています。一方で、日本の社会は、人口減少、少子化、高齢化など、多くの課題を抱えています。こうした中で、社会について学び考え、社会とのかかわり方を身につけていくことを通して、未来のよりよい社会づくりに参画・貢献する国民・市民を育てていく社会科の役割は、ますます重要になっています。

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標を達成し、社会科の目標である「公民としての資質・能力」の基礎を養うことを目指し、以下の3点を柱として編修に取り組みました。

特色 ①

社会について
「調べて、考えたく
なる」教科書



- 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。
- 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

特色 ②

「社会とかかわる」
子供を育てる
教科書



- 社会的な事柄に参画・提案する場面を充実させました。
- 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

特色 ③

「主体的に、
楽しく学ぶことが
できる」教科書



- 「見通し」をもって学習を進めることができます。
- 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

特色 ①

社会について「調べて、考えたくなる」教科書

01. 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。

単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。

① 1小単元での本時の「めあて」と学習段階の例

つかむ

日本国憲法とはどのようなものなのでしょう。

政治・国際編 p.8

調べる

憲法の基本的人権の考えは、市や国の政治にどのように反映されているのでしょうか。

政治・国際編 p.14

まとめる

学習問題について調べたことを整理し、自分の考えをノートに書き、友だちと話し合ってみましょう。

政治・国際編 p.20

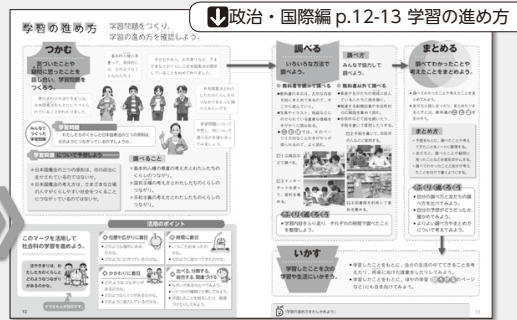
(単元全体の「いかす」)

いかす

新聞を読もう

政治・国際編 p.62

- 1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを原則とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階を明示しました。
- 各学年に、見開きで「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階をたどりながら小単元の学習の進め方を示し、問題解決の流れがわかるようにしました。



02. 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。

- 「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(考え方)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいかが明確にわかるようにしています。

空間 歴史編 p.20



古墳は、どのように広がっているのかな。

時間 歴史編 p.60



現在に受けつがれている文化には、どのようなものがあるのかな。

相互関係 歴史編 p.27

中国の政治は、日本にどのような違いやあつちあつちのな。



方法(考え方) 歴史編 p.54

武士が最も大切にしていたものは何だったかを思い出し、せりふを考えよう。



03. 「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができます。

「問題解決的な学習」を充実させることが、主体的な学びをつくることにつながります。

- 「つかむ」場面では、「学習問題」を導き出せるよう、掲載する資料(写真・イラスト・グラフ)を工夫しました。

- 「話し合い」の場면을重視し、イラストや写真を適宜掲載するなど、紙面を工夫しました。

- 「まとめる」場面では、学習問題を解決する様々な活動を位置づけています。



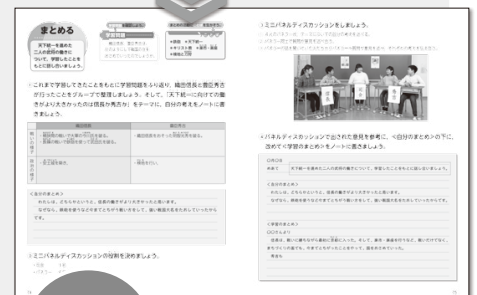
資料を読み取り考える

歴史編 p.102-103 複数の資料を比べる



対話的な学び

歴史編 p.44-45 話し合い、学習問題をつくる



様々な活動で問題解決

歴史編 p.74-75 ミニパネルディスカッション

特色②

「社会とかかわる」子供を育てる教科書

01. 社会的な事柄に参画するための基礎を培う場面(学習段階「いかす」)を充実させました。

「日本の歴史」の「いかす」

- 学習した時代を振り返ってカードをつくり、現代のわたしたちのくらしとのかかわりについて発表し合った上で、最後に自分の意見文を書く場面を掲載しました。



歴史編 p.156-157

「政治の働き」の「いかす」

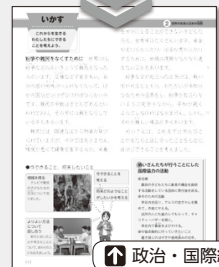
- 「公園づくりについて話し合おう」と題して、いろいろな立場がある中で、どのように多様な意見をまとめていけばよいかを考える場面を掲載しました。



政治・国際編 p.58-59

「世界の未来と日本の役割」の「いかす」

- 学んだことや友だちと話し合ったことをもとに、自分にできることを考える場面を掲載しました。



政治・国際編 p.110

02. 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

- 様々な仕事に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

政治・国際編 p.14

尼崎市役所の北川さんの話

尼崎市では、「人権文化の息づくまち」をめざして、基本的人権の啓発活動を積極的にを行っています。
毎年、「じんけんスタディアー」を行い、基本的人権が十分に守られていない問題など、市民のみならず考えるべきことを取り上げ、講演会やワークショップを行っています。また、市内には、地域総合センターが6か所あり、地域の人々の交流の場として活用されています。子どもたちの居場所としても、大切な役割を果たしています。
さまざまな取り組みを通して、身近な人権について、市民一人一人が理解を深めてほしいと思います。



気仙沼漁港の小松さんの話

大震災による漁港のダメージは、かなり深刻なものでした。わたしたちは、すぐに対策本部をつくり、高い目標を立てて、復興に向けて努力しました。国や県、市のすみやかな対応もあり、震災から3か月後には、生鮮かつおの水あげを再開させることができました。震災の年もとされることなく、気仙沼は、20年以上連続で生鮮かつおの水あげ日本一を続けています。
今後は、限りある水産資源を守りながら水産業を進めていくことも大切です。



政治・国際編 p.53

特色③

「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

01. 「見通し」をもって学習を進めることができます。

学習問題をつくる 学習問題について予想 学習計画を立てる

- 「学習問題」をつかった後の段階に、「学習問題について予想しよう」「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、見通しをもって学習を進められるようにしました。



政治・国際編 p.68-69 学習問題をつくり、学習計画を立てる

- 第6学年の冒頭に、「5年生で学んだこと」と、「6年生で学ぶこと」をそれぞれ見開きで掲載し、既習事項を振り返り、見通しをもって第6学年の社会科学習に入れるようにしています。

02. 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。



歴史編 p.158-159 日本の世界文化遺産



政治・国際編 巻末折込 もっと知りたい身近な国

- 写真や想像図、絵画資料など、活用できる資料を多数掲載しました。

- 資料には、見開きごとに通し番号を付けています。

2. 対照表

図書の構成・内容	とくに意を用いた点や特色	該当箇所
5年生で学んだこと／ 6年生で学ぶこと	・第5学年の既習事項を振り返り、第6学年の学習内容を提示することで、第6学年の社会科学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号)	p.2-5
1 わたしたちの生活と政治 1 わたしたちの暮らしと日本国憲法 2 国の政治のしくみと選挙 3 子育て支援の願いを実現する政治 3 震災復興の願いを実現する政治	・我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考えに基づいており、国民が相互の権利を尊重し、義務を果たしながら、平和で民主的な国家の形成に参加している教材を取り上げました。(第2号) ・公共の仕事の意義や価値、携わる人の誇りや願いについて、実際の人に取材した「〇〇さんの話」で記述し、共感的な理解をうながすようにしました。(第2号)(第3号) ・学習の成果を生かし、多様な意見を取りまとめることについて話し合う場面を設定し、児童自らがよりよい社会形成について考えることができるようにしました。(第3号)	政治・国際編 p.8-21 p.14, p.52 p.58-59
2 日本の歴史 1 縄文のむらから古墳のくにへ 2 天皇中心の国づくり 3 貴族の暮らし 4 武士の世の中へ 5 今に伝わる室町文化 6 戦国の世から天下統一へ 7 江戸幕府と政治の安定 8 町人の文化と新しい学問 9 明治の国づくりを進めた人々 10 世界に歩み出した日本 11 長く続いた戦争と人々の暮らし 12 新しい日本、平和な日本へ	・我が国は、先人の様々な努力によって、平和で民主的な国家として発展してきたことを考えさせる教材を取り上げました。(第3号) ・我が国の先人が、それぞれの時代の課題を解決し人々の願いを実現していったことを具体的に取り上げ、我が国の歴史を尊重し誇りと愛情をはぐくむようにしました。(第5号) ・学習内容に応じ、我が国の代表的な文化遺産や身近な地域の歴史事象を積極的に取り上げ、我が国の郷土の伝統や文化への理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養うようにしました。(第5号) ・公害などの環境問題、地球環境問題について取り上げ、環境保全の重要性がわかるようにしました。(第4号)	歴史編 全体 全体 p.8-9, p.24-25, p.42-43 p.124, p.149, p.150
3 世界の中の日本 1 日本とつながりの深い国々 2 世界の未来と日本の役割	・我が国と関係の深い国々の生活を具体的に取り上げ、他国の文化への理解を深め、尊重する態度を養うとともに、国際社会の平和と発展のために我が国が果たす役割を具体的に考えさせる教材を取り上げました。(第5号)	政治・国際編 p.64-111, 巻末折込

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

01 全ての児童が使いやすい紙面への配慮

- ① **特別支援教育への配慮** ・全ての児童にとって使いやすくわかりやすいユニバーサルデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン

- 本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウト。
- 児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つよう工夫。

カラーバリアフリーに配慮

- 図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮。
- 紙面の検討に際しては、カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得ました。

ユニバーサルデザインフォントの使用

- 教科書の一部にユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、可読性を高めています。

- ② **人権への配慮** ・人権尊重についての認識を深める教材を充実させるとともに、人権にかかわる社会の働きや人々の取り組みを取り上げました。 (歴史編 p.59 ほか) (政治・国際編 p.14-15)

③ 造本の工夫 (判型, 書体, 用紙等)

判型

- 資料性、視覚的効果が高い幅広の判型を使用。

分冊

- 学びやすさを考えた2分冊(政治・国際編、歴史編)。

書体

- 教科書本文は、書き文字に近い教科書体を使用。

用紙・印刷

- 用紙は、軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- 鮮やかな挿絵、写真等の印刷で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りが可能。

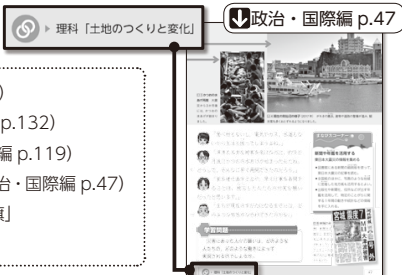
02 今日の課題への取り組み

① 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

・「教科関連マーク」
④ (教科名)を新設し、
関連する他教科の学習
内容を示すようにしま
した。

例

- ・国語 「日本の文学」(歴史編 p.39)
「図書館の使い方」(歴史編 p.132)
- ・算数 「いろいろなグラフ」(歴史編 p.119)
- ・理科 「土地のつくりと変化」(政治・国際編 p.47)
- ・外国語 「世界のさまざまな国と国旗」
(政治・国際編 p.68)



・教科書の随所に掲載し
ている「○○さんの話」
は、地域の人材活用を
念頭に置いて構成して
います。

② 国旗の取り扱い

・「国旗と国歌」を1ページで取り上げ、「ことば」で
国旗・国について解説し、「おたがいの国旗や国歌を
尊重し、大切にみつかることは、世界共通のルール」
であることを記述しました。(政治・国際編 p.111)

③ 道徳教育との関連

・社会科の教科特性に応じて道徳性を養うことができ
るよう、人間尊重や公共の精神、生命や自然への畏
敬の念をはぐくむ教材を取り上げました。

(歴史編 p.99, p.127)

④ 防災の取り扱い

・「震災復興の願いを実現する政治」の小単元
では、東日本大震災からの復旧・復興を事例
に、国や自治体の取り組みによって復旧・復
興が進められていることが理解できるように
しました。(政治・国際編 p.46-57)

⑤ 「領土の範囲」の取り扱い

・5年生の「領土をめぐる問題」の内容をふまえつつ、「まわり
の国と日本」で、北方領土、竹島、尖閣諸島について記述す
るとともに、北方領土の地図を掲載しました。(歴史編 p.153)

⑥ 国際理解・グローバル教育への取り組み

・「日本とつながりの深い国々」では、本文ページに加えて巻末の
折込で教科書で取り上げた4か国の写真を掲載し、児童の国際理
解が進むようにしました。(政治・国際編 p.66-99, 巻末折込)

⑦ 環境教育への取り組み

・「持続可能な社会をめざして」で、世界の環境
問題を取り上げ、「持続可能な開発目標
(SDGs)」については本文で取り上げ、具体的
な目標を調べて自分たちにできることを考
える活動を示しました。(政治・国際編 p.104-105)

⑧ 教育のICT化への対応

・「D(デジタル)マーク」を示している箇所には、社会科学習への興味・
関心を高めることができるコンテンツを用意しました。目次ページに掲載
したURLか2次元コードからアクセスすることができ、家庭学習で
活用することができます。

・制度化された学習者用デジタル教科書と、教科書に完全準拠した指導者用
デジタル教科書(教材)を発行します。指導者用デジタル教科書は、動画
資料、アニメーション、自由に教材を作成する機能などを収載しています。

⑨ 教員支援

・教師用指導書は、「指導編」では「板書例」「発
問例」を載せ、「評価」に関する内容も充実
しています。また、「研究編」には小単元ご
との「知識の構造図」を載せ、授業に際して
活用できるようにしています。

・教師用指導書「研究編」には、「複式年間指
導計画」を掲載しています。

03 そのほかの取り組み

① 小中の系統性

・児童の中学校での学習への関心を高
め、小学校と中学校の社会科学習の接
続に活用できるよう、中学校社会科(地
理・歴史・公民)の学習内容を示した
「中学校に向けて」を見開きで掲載し
ました。(政治・国際編 p.114-115)

② 世界遺産・国宝・日本遺産の扱い

・「世界遺産」「国宝」マークを新設し、我が国の優れた文化遺産への関心を
高めることができました。

・歴史編巻末に、「日本の世界文化遺産」を見開きで掲載しました。
(歴史編 p.158-159)

・「ひろげる」で、「世界遺産を調べよう」「日本遺産を調べよう」を新たに
掲載しました。(歴史編 p.42-43, p.100-101)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-82	小学校	社会	社会	6
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	社会 601 社会 602	新しい社会 6 政治・国際編 新しい社会 6 歴史編		

1. 編修上, とくに意を用いた点や特色

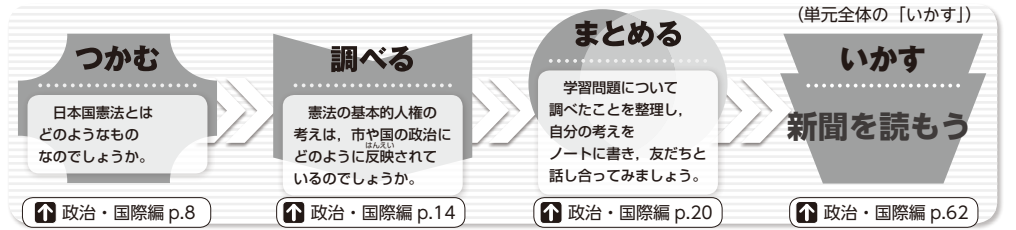


01 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。

新学習指導要領の第6学年の目標で「学習の問題を追究・解決する活動」と明記され、問題解決的な学習がいっそう重視されています。

● 教科書に沿った学習で、「問題解決的な学習」の展開が可能

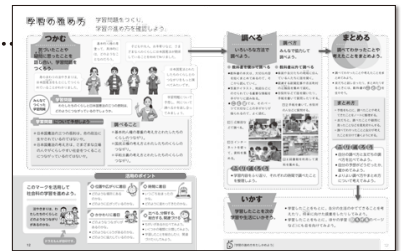
「学習問題」や本時の「めあて」をはっきりと示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。



● 学習段階ごとに、具体的な学習の進め方を提示

「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を詳しく説明しています。

政治・国際編 p.12-13 学習の進め方

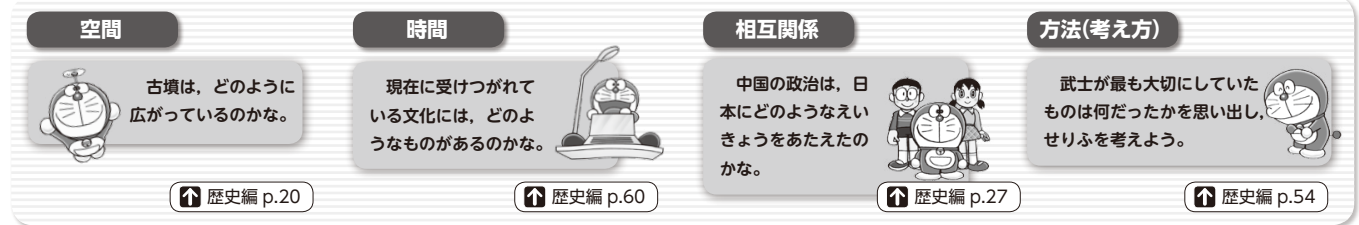


02 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

新学習指導要領の第6学年の目標で、「社会的事象の見方・考え方を働かせ」ことが明記されました。

教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、考え方（「方法」）の合わせて4種類の囲みを使い分けています。

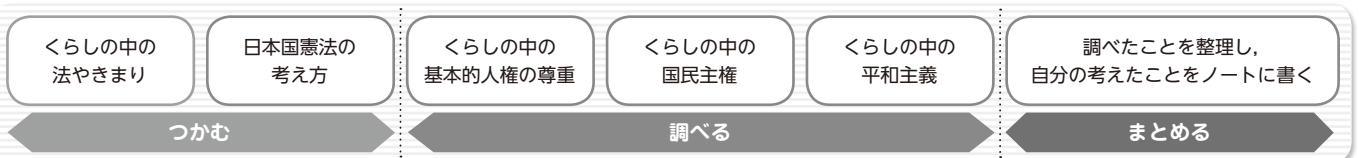
● 一目でわかる「見方・考え方」の囲み



03 学習を進めやすい紙面展開

新学習指導要領では、「着目」として具体的に調べる内容が明示されました。

教科書では「着目」の文言をふまえて、学習を進めやすい紙面展開にしています。



「わたしたちの暮らしと日本国憲法」の小単元の紙面展開

「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができる教科書です。

新学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」で、「主体的・対話的で深い学びの実現」を図ることが明記されたことをふまえ、「問題解決的な学習」の充実を図るなど、教科書の改善を図りました。

● 資料を読み取り、考える

「つかむ」場面では、「学習問題」を児童が導き出せるよう、掲載する資料を工夫しました。



↑ 歴史編 p.102-103 複数の資料を比べる

● 対話的な学び

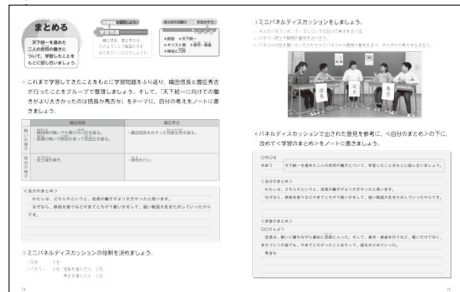
「話し合い」の場面や社会で働く人から話を聞く場면을重視し、イラストや写真を適宜掲載しました。



↑ 歴史編 p. 44-45 話し合い、学習問題をつくる

● 学習を振り返り、考える

「まとめる」場面では、学習問題を解決するための様々な活動を位置づけています。



↑ 歴史編 p. 74-75 ミニパネルディスカッション

特色 ②

「社会とかわる」子供を育てる教科書

01 社会的な事柄に参画するための基礎を培う場面(学習段階「いかす」)を充実させました。

● 自分たちにできることを考え、地域社会の一員としての自覚をはぐくむ

学習した時代を振り返ってカードをつくり、現在のわたしたちのくらしとのかかりについて発表し合った上で、最後に意見文を書く場面を掲載しました。

歴史単元 「いかす」



↑ 歴史編 p.156-157

政治単元 「いかす」



↑ 政治・国際編 p.58-59

「公園づくりについて話し合う」活動を通して、多様な意見を取りまとめるためにどうすればよいかを考える場面を掲載しました。

国際単元 「いかす」



↑ 政治・国際編 p.110

紛争や難民について学んだことや友だちと話し合ったことをもとに、自分にできることを考える場面を掲載しました。

02 社会に生きる人々の姿に学ぶ。

● 多様な人の生き方を、インタビューをもとにした生の声で学ぶ

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

尼崎市役所の北川さんの話



尼崎市では、「人権文化の息づくまち」をめざして、基本的人権の啓発活動を積極的にしています。

毎年、「じんけんスタディツアー」を行い、基本的人権が十分に守られていない問題など、市民のみなさんとの関わりを取り上げ、講演会やワークショップを行いました。また、市内には、地域総合センターが6か所あり、人の交流の場として活用されています。子どもたちにとっても、大切な役割を果たしています。さまざまな取り組みを通して、身近な人権について一人一人が理解を深めてほしいと思います。

↑ 政治・国際編 p.14

市役所の人、漁港の人など、多様な人々を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

気仙沼漁港の小松さんの話



大震災による漁港のダメージは、かなり深刻なものでした。わたしたちは、すぐに対策本部をつくり、高い目標を立てて、復興に向けて努力しました。国や県、市のすみやかな対応もあり、震災から3か月後には、生鮮かつおの水あげを再開させることができました。震災の事も忘れず、気仙沼は、20年以上連続して生鮮かつおの水あげ日本一を続けています。今後は、限りある水産資源を守りながら水産業を進めていくことも大切です。

◎復興した気仙沼漁港(2017年)

➡ 政治・国際編 p.53



↑ 政治・国際編 p.106

国際協力・国際交流の観点から、青年海外協力隊で活動する人や、日本で学ぶ留学生の姿なども取り上げました。



➡ 政治・国際編 p.97

特色③
「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

01 見通しをもって、学習を進めることができます。

● **予想と学習計画で、問題解決の見通しをもつ**
 「学習問題」をつかった後に、「学習問題について予想しよう」「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、見通しをもって学習を進められるようにしました。

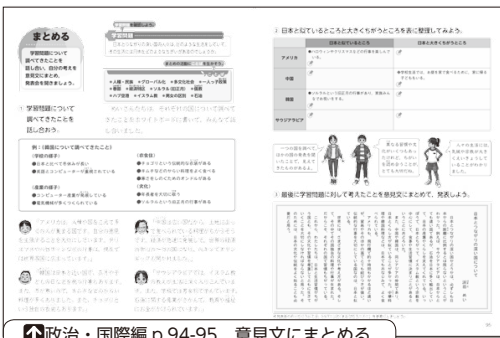
政治・国際編の冒頭に、「5年生で学んだこと」と「6年生で学ぶこと」をそれぞれ見開きで掲載しました。



政治・国際編 p.68-69
 学習問題をつくり、学習計画を立てる

02 「まとめる」場面では、多様な表現活動に取り組むことができます。

● **「まとめる」活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てる**
 学習問題を解決する場面では、新聞をつくる、キャッチコピーをつくる、人物カードをつくる、意見文にまとめるなどの表現活動を提示し、習得した知識を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育てます。



政治・国際編 p.94-95 意見文にまとめる
 歴史編 p.126 人物カードをつくる

03 学習場面に応じた学び方を「まなび方コーナー」で示しています。

まなび方コーナー

政治・国際編	歴史編
見る・聞く・ふれる	見る・聞く・ふれる
取材をする…………… 38	身近な歴史を見つける…………… 3
読み取る	博物館を見学する…………… 4
新聞や年鑑を活用する…………… 47	聞き取り調査をする…………… 137
人々の生活の様子を調べる…………… 71	読み取る
資料を収集する…………… 103	年表を読み取る…………… 6,29
表す・伝える	伝記を使って調べる…………… 49
項目ごとに整理する…………… 15	歴史地図を読み取る…………… 77
三つの関係をまとめる…………… 31	グラフから歴史的事象を読み取る…………… 119
発表会を開く…………… 69	図書館を利用する…………… 132
	複数の写真から読み取る…………… 143
	表す・伝える
	新聞をつくる…………… 23
	レポートを書く…………… 62
	意見文を書く…………… 157

6年生では、19か所の「まなび方コーナー」を掲載しました。

04 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

世界遺産 国宝

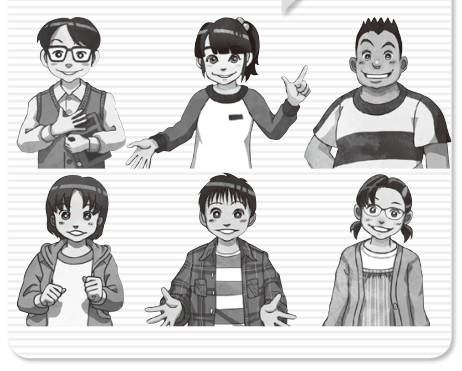
世界遺産と国宝にはマークを入れ、我が国の優れた文化遺産を意識できるようにしました。



写真や想像図、活用できる資料を多数掲載しました。



親しみやすい児童キャラクターが、ドレーモンとともに学習をナビゲートします。



歴史編 p.158-159 日本の世界文化遺産
 政治・国際編 巻末折込 もっと知りたい身近な国

05 柔軟な扱いが可能な「ひろげる」を充実させました。

「ひろげる」を活用することで、社会科の学習に広がりをもたせることができます。



歴史編 p.100-101 日本遺産を調べよう

「世界遺産を調べよう」(平泉)、「日本遺産を調べよう」(鎌倉)については、それぞれ見開きで取り上げました。

観点別特色の一覧

<p>教育基本法の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。(全体) ・第2号については、実際に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の誇りや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。
<p>学習指導要領の教科の目標との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。(全体) ・「見方・考え方」の囲みを新たに設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。(全体) ・小単元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしました。(全体)
<p>社会的な見方・考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(「考え方」)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいか明確にわかるようにしました。(歴史編 p.20, p.60) など
<p>思考力・判断力・表現力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。 ・「いかす」場面では、多様な意見をまとめていくことについて考えたり、学んだことや友だちと話し合ったことをもとに、自分にできることを考えたりする活動を提示しました。
<p>基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。(政治・国際編 p.15「基本的人権の尊重」)(歴史編 p.21「大和朝廷」)(歴史編 p.85「鎖国」) など ・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。(政治・国際編 p.116)(歴史編 p.160) ・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。(政治・国際編 p.15「項目ごとに整理する」)(歴史編 p.3「身近な歴史を見つける」)(歴史編 p.137「聞き取り調査をする」) など
<p>資質・能力への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しました。 ・(「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等」) ⇒ 上掲 ・(「学びに向かう力, 人間性等」) 「日本の歴史」の単元で、我が国の先人が時代の課題を解決し人々の願いを実現していったことについて学ぶことを通して、我が国の歴史を尊重し誇りと愛情をはぐくめるようにしました。また、「世界の中の日本」の学習を通して、国際社会の平和と発展のために我が国が果たす役割について考えることができるようにしました。
<p>学習方法・授業展開への配慮 (アクティブ・ラーニングなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場面を重視し、適所でイラストや写真を示したほか、「まとめる」場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。(政治・国際編 p.44)(政治・国際編 p.63)(政治・国際編 p.108-109)(歴史編 p.114-115) など ・「学習の進め方」の見開きでは、学習段階ごとの具体的な学習の進め方について、詳しく説明しています。(政治・国際編 p.12-13)
<p>問題解決的な学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階(つかむ, 調べる, まとめる, いかす)を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開をうながしました。 例(政治・国際編 第1単元 1「わたしたちのくらしと日本国憲法」): (p.8「つかむ」)(p.14「調べる」)(p.20「まとめる」)(p.62 単元全体の「いかす」)
<p>今日的な課題に関する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の学習内容に応じて、今日的な課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災……(政治・国際編 p.46-57「震災復興の願いを実現する政治」), 環境……(政治・国際編 p.104-105「持続可能な社会をめざして」)(歴史編 p.150「地球サミット」), 主権者……(政治・国際編 p.26-27「選挙のしくみと税金の働き」)(政治・国際編 p.32-33「なごや子ども市会」) など
<p>他教科との関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容をページの欄外に示し、関連を図ることができるようにしました。 (歴史編 p.39 国語「日本の文学」)(歴史編 p.119 算数「いろいろなグラフ」) (政治・国際編 p.47 理科「土地のつくりと変化」)(政治・国際編 p.68 外国語「世界のさまざまな国と国旗」) など

<p>人権への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重についての認識を深める教材を充実させるとともに、人権にかかわる社会の働きや人々の取り組みを取り上げ、将来にわたって基本的人権を尊重する知識と態度を身につけるようにしました。(歴史編 p.59 ほか (歴史上差別されてきた人々のすがた)、(歴史編 p.153 「アイヌの伝統文化を守るために」)、(政治・国際編 p.14-15 「くらしの中の基本的人権の尊重」) ・キャラクターやイラストに描かれる人物などが、性別による偏りがないようにしました。
<p>印刷・造本の工夫 (親しみやすさ、使いやすさなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料性、視覚的効果が高く、ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮した幅広の判型を用い、見開きの情報量を充実させるとともに、資料提示効果の高い紙面構成に努めました。 ・学びやすさを考慮した2分冊(政治・国際編、歴史編)です。 ・軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用しました。
<p>印刷・製本の配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の高い植物油インクで印刷し、長期の使用や持ち運びに耐えるよう、表紙には汚れにくく、防水効果、強度の高い加工(P P加工)を施すとともに、堅牢な針金綴じを用いて製本しました。
<p>書体・大きさ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また、読みやすさを追求し、適所にユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を用いました。
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科との関連や児童の発達に十分配慮し、当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また、一文を短く、全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方、必要な場面では、学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。
<p>特別支援教育にかかわる適切な配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が障がいその他の特性の有無にかかわらず教科書を学習できるよう、ユニバーサルデザインの考えに基づいて、紙面を作成しています。 ・カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得て、配色や色にかかわる表現を点検するとともに、だれも見やすく、わかりやすい落ち着いたレイアウトに努めました。図表の配色に当たっては、必要に応じて形や模様により識別できるようにしました。

2. 対照表

配当時数計：105

単元名・小単元名	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 わたしたちの生活と政治	(1) 我が国の政治の働き	p.6-63	19
1 わたしたちのくらしと日本国憲法	(1) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.8-21	6
2 国の政治のしくみと選挙	(1) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.24-31	4
3 子育て支援の願いを実現する政治	(1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ)	p.34-44	(7)
3 震災復興の願いを実現する政治	(1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ)	p.46-59	(7)
2 日本の歴史	(2) 我が国の歴史上の主な事象	p.2-157	72
1 縄文のむらから古墳のくにへ	(2) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.8-23	7
2 天皇中心の国づくり	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.24-34	6
3 貴族のくらし	(2) ア - (ウ) (ウ), イ - (ア)	p.36-41	3
4 武士の世の中へ	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.44-54	6
5 今に伝わる室町文化	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.56-61	3
6 戦国の世から天下統一へ	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.64-75	6
7 江戸幕府と政治の安定	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.76-86	6
8 町人の文化と新しい学問	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.90-98	5
9 明治の国づくりを進めた人々	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.102-115	7
10 世界に歩み出した日本	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.116-126	6
11 長く続いた戦争と人々のくらし	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.128-140	7
12 新しい日本、平和な日本へ	(2) ア - (イ) (ウ), イ - (ア)	p.142-155	7
3 世界の中の日本	(3) グローバル化する世界と日本の役割	p.64-111	14
1 日本とつながりの深い国々	(3) ア - (ア) (ウ), イ - (ア)	p.66-97	7
2 世界の未来と日本の役割	(3) ア - (イ) (ウ), イ - (イ)	p.100-111	6